

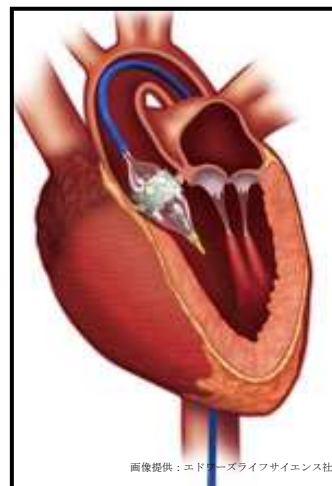
弁膜症外来開設のご案内

第1・第3金曜日 午後1:00～午後5:00

新春の候、皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当院では、この度、弁膜症外来を開設いたしました。本専門外来では、弁膜症や心不全などの構造的な疾患に対するカテーテルを用いた低侵襲治療（SHDI：Structural Heart Disease Intervention）をご提供いたします。身体的に負担の少ないSHDI治療は、特に高齢の患者様や重症心不全の患者様にとって、魅力的なオプションといえます。

日本では、諸外国に比べSHDI治療の導入が遅れておりましたが、平成25年に大動脈弁狭窄症の治療であるTAVI（右図）が導入されました。当院では現在このTAVI治療を、世界水準に比べて、圧倒的に安全なレベルでご提供しております。



	30日死亡率	脳梗塞	ペースメーカー留置率	出血性合併症
PARTNER2 試験	4%	6%	9%	10%
当院実績	0%	0%	4%	0%

（米国で行われた大規模試験【PARTNER2試験】の治療実績と当院の治療実績の比較）

さらに本年夏からは、いよいよ僧帽弁閉鎖不全症、そして重症心不全に対する新規治療として期待されるMitraClipが日本に導入される予定です。

本院では、今後SHDI治療に今まで以上に注力していく方針であり、この分野において治療の質・量ともに世界の先頭を走るドイツで、数多くの臨床経験を重ねた金子英弘医師を



金子英弘医師

招聘し、弁膜症外来を開設いたしました。弁膜症の最先端治療に関しては、いつでもお気軽にお問合せ下さい。

今後も本院は「心臓病治療の砦」として、最善で最先端治療を提供してまいります。治療が必要な患者様がいらっしゃった場合には、是非ともご紹介をお願い申し上げます。

治療に関するお問い合わせは

東京大学医学部附属病院 循環器内科まで

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

病院代表 TEL. 03-3815-5411（内線 33163）

循環器内科直通 TEL:03-5800-9267 FAX: 03-5800-9780

Email: kanekoh-int@h.u-tokyo.ac.jp